

平成30年11月2日

生徒の皆さんへ

武庫川女子大学附属中学校・高等学校
校長 藤森陽子

大地震と津波に備えて

平成23年3月11日に東日本大震災がありました。政府の地震調査研究推進本部によると、今後30年以内に、東海、南海、東南海地震が発生する確率は70～80%以上と高く、もしこれらの地震が同時発生すれば巨大な地震となり、西日本でも甚大な被害が出ると危ぶまれています。

本校では、阪神・淡路大震災が1995年に発生して以来、校舎の耐震工事を積極的に進め、全ての教室棟の耐震化を終えています。日頃からの心構えや備えがあれば、大地震が発生しても被害を最小限に食い止めることができます。

生徒の皆さんは、次のことを十分理解して、いざというときに冷静に判断し、行動できるようにしましょう。

1 地震が発生したら

(1) 授業中に地震が起きた場合

- ① まず衣類（防災頭巾）や持ち物で頭を覆い、机の下にもぐり込む、窓・廊下側の窓ガラス・落下物（蛍光灯等）に注意してください。
- ② 地震がおさまり、放送（停電の場合は、ハンドマイク等何らかの方法）で指示があるまで絶対に動かないようにしてください。
- ③ 避難の指示がでた場合は、担当教師の指示に従って落ち着いて避難してください。
※ 階上の生徒が避難したことを確認してから、次の階の生徒が避難してください。
※ 避難経路が通れなくなった場合も、落ち着いて担当教師等の指示に従って避難してください。

(2) 昼休み等教室以外で地震が起きた場合

【校舎内の場合】

- ① あわてて外へ飛び出さないでください。窓の側は避け、落下物のないところ（教室等）へ避難してください。
- ② 地震がおさまり、放送（停電の場合は、ハンドマイク等何らかの方法）で指示があるまで絶対に動かないようにしてください。
- ③ 避難の指示がでた場合は、教師の指示に従って落ち着いて避難してください。

【校舎外の場合】

- ① 窓ガラス、外壁等の落下物・地面の亀裂や陥没隆起に注意し、安全な場所（運動場等）へ避難してください。
- ② 地震がおさまり、放送（停電の場合は、ハンドマイク等何らかの方法）で指示があるまで絶対に動かないでください。
- ③ 避難の指示がでた場合は、教師の指示に従って落ち着いて避難してください。

(3) 登下校の時地震が起きた場合

- ① 看板、窓ガラス、外壁等の落下物に注意してください。
- ② 道路の亀裂や陥没隆起に注意してください。
- ③ 狭い道路や崖、川べり、ブロック塀、橋等から離れてください。
- ④ 安全な場所へ避難してください。

(4) 自宅では

- ① 自宅が倒壊するなど避難所等に移動した場合は、落ち着いてから、「本人・家族などの被災のようす、現在の住所・連絡先」を学校に連絡してください。

2 地震発生後の行動

揺れがおさまっても、すぐに余震が発生し被災する場合があります。あわてず落ち着いて速やかに避難してください。

(1) 学校では

- ① 先生の指示に従って、落ち着いて安全な場所に移動してください。移動するときは、上履きでかまいません。荷物は待たないで避難してください。私語をしないこと。
② クラスごとに点呼をします。落ち着いて点呼に協力してください。
③ けがをした人など、手助けが必要な人には協力して援助してください。
④ 家庭への連絡や帰宅方法などは、先生の指示に従ってください。

(2) 登下校中では

- ① 学校に近い場合は学校に避難して、先生の指示に従ってください。
② それ以外は、近隣の指定避難所か自宅まで移動することになります。

(3) 自宅では

- ① 自宅が倒壊するなど避難所等に移動した場合は、落ち着いてから、「本人・家族などの被災のようす、現在の住所・連絡先」を学校に連絡してください。

連絡先：武庫川女子大学附属中学校・高等学校 事務室 663-8143 西宮市枝川町4-16 TEL 0798-47-6436 FAX 0798-47-2244

- ② 学校からの連絡は、フェアキャスト、ホームページ等で行います。
③ AM神戸(ラジオ関西) [558kHz・1395kHz] で、大災害発生時に兵庫県私立中学高校連合会からの学校緊急情報が放送されます。

3 津波警報・大津波警報が発令されたら

兵庫県では、従来、マグニチュード(M)8.4規模の南海地震を想定して、西宮市での津波の高さを最大3mと想定していました。しかし、東日本大震災並みのM9.0の地震の場合は、従来の想定のおよそ2倍になるとした検討が必要とされるようになりました。今後、具体的な防災計画や浸水する地域の予想図が作製されます。本校でも、防災計画を一層綿密なものにしていきます。

(1) 学校では

- ① 津波警報・大津波警報が発令されたら、すぐに校内放送で知らせます。
② 津波警報・大津波警報の校内放送があれば、先生の指示に従って、訓練のどおり下の階のクラスから順に屋上に避難してください。

注：津波の第1波が小さくても、第2波・第3波と次第に大きくなる場合もあります。長時間にわたって警報が発令される場合でも、解除になるまで避難場所で待機してください。

(2) 登下校中では

- ① 学校に近い場合は学校に避難して、先生の指示に従ってください。
② それ以外は、高いところか海岸と反対方向の北の方へ避難してください。

注：西宮市防災安全局は津波の避難について、『「より早く、より遠く、より高く」が基本で、とりあえずJR神戸線以北を目標に逃げることに、到着できれば、さらに北の高台をめざしてほしい』とのことです。

- (3) 自宅では
 - ① 事前に、津波発生の際の避難場所について話し合っておいてください。
 - ② 津波警報・大津波警報が発令されたら、事前の話し合いの通りに行動してください。
 - ③ 津波注意報や警報が発令されたら、絶対に海岸や河川には近づかないでください。

4 津波発生後の行動

- (1) 学校では
 - ① 地震の発生と同様です。家庭への連絡や帰宅方法なども地震の発生と同様で、先生の指示に従ってください。
 - ② 学校からの連絡は、フェアキャスト、ホームページ等で行います。
- (2) 自宅では
 - ① 自宅が被災するなど避難所等に移動した場合は、地震の発生と同様に、落ち着いてから学校に連絡してください。

5 大地震と津波に備えての事前準備

家族でよく相談して、次の項目を参考に、あらかじめ準備しておいてください。

- (1) 家具への備え
 - 家具が倒れてきてもケガをしない安全なスペースを確保してください。特にいつも寝ているところの家具の配置を、確かめてください。
 - テレビ台、PCラックのようなキャスター付きの家具は、確実にロックしておいてください。
- (2) 非常持ち出し品の準備
 - 貴重品（お金、保険証など）、非常食（水、ビスケット、チョコなど）、医薬品、軍手、懐中電灯、携帯ラジオなど、さしあたっての必需品をまとめておき、定期的に家族で確認してください。
- (3) 避難経路の確保
 - 扉などの開閉に支障がないように、玄関や廊下に物を置かないこと。
- (4) 家族との連絡方法
 - 災害時の避難路、避難場所を確かめ合って、家族間で分かり合っておきましょう。
 - 学校からの連絡は、「フェアキャスト」、ホームページ等で行います。

地震時における行動「10のポイント」

- (1) グラツときたら火の始末
- (2) テーブル等の下に身をふせよ
- (3) 戸を開けて、まず出入口を確保せよ
- (4) あわてて外に飛び出すな
- (5) わが家の安全、隣の安全、互いに声をかけあおう
- (6) 火が出たらすばやく消火
- (7) 門や塀には近寄るな
- (8) 室内のガラスの破片に気を付けよ
- (9) 協力し合って応急救護
- (10) 正しい情報に耳をかせ

附属中高への連絡

- 学外で災害に遭遇した場合、身の安全が確保でき、余裕ができたなら下記の内容を電話、メール、FAX、はがきなどで連絡してください。
- (1) 氏名（ふりがな）、学年・クラス・出席番号
 - (2) 本人や家族の状況（ケガの有無）
 - (3) 自宅の家屋被害状況
 - (4) 現在の住所（避難している場合は避難先）・連絡先

6 災害用伝言ダイヤル 171 について

(以下、NTT西日本HPより転載 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/intro/>)

地震など大災害発生時は、安否確認、見舞、問合せなどの電話が急激に増加し、電話がつながり難い状況が発災当日～数日間続きます。

NTTでは、災害時に限定してご利用可能な「災害用伝言ダイヤル (171) (電話サービス)」を提供しています。災害用伝言ダイヤル (171) は、被災地内の電話番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。

